



きらめく風

ホームページ

携帯サイト →



すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

何ができるか、何をすべきか

校長 清水 誠

空蝉うつせみの なほ苦しみを 追うかたち たかは しゅぎょう (鷹羽 狩行)

「空蝉」とは、セミの抜け殻のことです。コンクリート塀や木の枝先のいたる所に、セミの抜け殻が見つかります。長年地中で成長してきた幼虫が、地上で羽化して空を飛んでいられるのはほんの数日です。この句では、残された空蝉さえも、なお苦しみを抱えているように見えると詠っています。しかし、私にとって空蝉は、生命の力強さを示す証とも感じ取れます。

毎年8月になると、命の尊さについて考えさせられます。77回目の終戦の日を迎え、今年も様々な報道番組がありました。戦争体験者の高齢化に伴い、後世に命の大切さを直接伝える語り手が少なくなってきました。そのような中、当時の凄惨な様子を淡々と語る大島 満吉さんの姿に強い衝撃を受けました。練馬区在住の大島さんは、旧満州で起こった「葛根 廟 事件」かつこんびょうでのわずかな生存者の一人です。終戦前日の8月14日、多くの避難民が旧ソ連軍の戦車隊の襲撃に遭い、千人以上が死亡しました。犠牲者の多くは、女性や子どもでした。突然の襲撃に人々が逃げ惑う様子、成すすべもなく目の前で人々が倒れていく様子を、大島さんは遠くを見つめる目で語り始めました。大島さんが自身の体験を話すことができるようになったのは、戦後半世紀近く経ってからであったといいます。身内の壮絶な出来事に、口を閉ざしたくなる記憶であったからでしょう。実際、当時9歳だった大島さんは、自決を覚悟した自分の母親が、2歳の妹の首に軍刀を向けた様子を絞り出すような声で語っていました。

一方、8月12日も、深い悲しみが蘇る忘れてはならない日です。日航機墜落事故から37年目を迎え、御巢鷹の尾根での追悼慰霊式の様子が今年も報道されていました。今年は、孫を連れて登山することで、事故の記憶を引き継ごうとする家族の姿も映し出されていました。当時9歳だった息子を亡くした美谷島 邦子さんは、「8・12連絡会」を立ち上げ、今も全国各地で講演を続けています。「伝える本人たちは、心のどこかがいつも痛む。でも、痛むからこそ伝えなければならない。」と、美谷島さんはインタビューに力強く答えていました。

大島さんも美谷島さんも、深い悲しみが癒えることはありません。しかし、その悲しみを多くの人に伝えることを自身の使命とすることを選択しました。教員になりたての頃、「今、自分に何ができるか、何をしなければならないのかを常に考える。」と、職場の上司から指導を受けた言葉を思い出します。コロナ禍で未だ感染状況の厳しい中、学校生活が始まりました。学校として何ができるか、何をしなければならないのかを考え、日々の運営に努めます。

～子ども達の

中学校部活動体験 (7/7)

7月7日(木)に部活動体験が行われました。今年は、バスケットボール部、バドミントン部、ソフトテニス部、吹奏楽部、美術部の5つの部活動を体験することができました。

中学生の先輩としての振る舞いには、大変感心しました。文化部も運動部も、率先して活動の準備をしたり、やさしくていねいに教えてくれたりしました。そのような中学生の頼もしい姿を目の当たりにした6年生は、目を輝かせながらそれぞれの活動に取り組みました。

活動が終わると、「中学に入ったら、この部活に絶対入りたい。」と意気込んでいる子が何人もいて、大変よい機会になったことを感じました。中学校の部活動に対して、心配なことや不安なことなどを少しでも軽減することができたのではないかと思います。



ユニセフ募金 (7/8~11)

7月8日(金)、9日(土)、11日(月)の3日間に渡り、代表委員会の子供たちを中心とした募金活動が行われました。

代表委員会では、世界中の貧しい子どものために少しでも募金活動を広めようと考え、動画での呼びかけやポスター作成に取り組みました。ユニセフ集会では、教育を受けられない子どもが世界中にたくさんいることなどを中心に全校児童に伝え、募金の大切さを呼びかけました。3日間とも、多くの子どもが募金箱の前に立ち止まる姿が見られました。

募金活動を通して、恵まれた環境で教育を受けていることを実感するとともに、改めてお金の大切さに気付くことができました。今年は、合計50,650円もの募金が集まりました。募金してくれた子ども達や、ご協力いただいた保護者の皆様に感謝いたします。

トウモロコシの皮むき (7/12)

2年生は、トウモロコシの皮むき体験の学習をしました。練馬区の農家から、その日の朝収穫したばかりのトウモロコシが、大きなかごに入れられて教室に届きました。一つ一つが大きくて新鮮で、子ども達は「においがかいだら、ひげからもトウモロコシのにおいがした。」と歓声を上げていました。

栄養士の西野先生のクイズに答えながら、トウモロコシのひげの役割や収穫したばかりのトウモロコシの温度などの話を聞き、驚いていました。トウモロコシの皮は何重にもなっていて、ひげも付いているのできれいにするのは大変でしたが、一生懸命にむいていきました。

給食では、「僕たちがむいたトウモロコシ、とってもおいしいね。」と大喜びで食べていました。子ども達にとって、新鮮な野菜のおいしさに気付くよい体験になりました。



学校生活～

町探検（7/14）

生活科「まちが大すきたんけんたい」の学習で、旭町の様子を見て知るために、町探検にいきました。

感染症対策を講じつつ、ネジのデパートでねじがたくさん入った箱を見せてもらったり、自転車屋で商品のことを教えてもらったり、北地区区民館で各部屋の使い方を説明してもらったりしました。「知らなかったことがいっぱいあった。」という声がたくさん挙がりました。これまで何となく知っていた町のことを詳しく知ることができました。

保護者の方数名にもご協力していただいたおかげで、安全に町を見て回ることができました。「もっと詳しく町のことを調べてみたい。」と意欲を高めていました。この意欲を2学期での調べ学習につなげていきます。



学力補充教室（7/21）



7月21日（木）、22日（金）、25日（月）の3日間、学力補充教室を行いました。おおよそ半数から三分の一ほどの児童が出席し、笑顔で元気に登校することができました。各学年、1学期の学習内容の中から課題のあるところを重点的に指導しました。夏休みの課題に取り組んだ児童もいますが、学年で共通の課題プリントを用意したり、個別に必要な学習内容を補ったりして学習を進めました。8時45分から9時45分の間、途中で休憩時間をはさみながらも、おしゃべりをせずしっかり集中することができました。

1学期に学んだことは、確実に2学期につながる力となります。学力補充教室で学習を積み重ねたことに自信をもち、2学期からの新しい学習に楽しんで取り組んでほしいと願っています。

科学実験教室（8/1）

理科実験グループ「ディレクトフォース」の皆さんに指導をしていただき、科学実験教室を開催しました。ディレクトフォースは、様々な企業で働いてきた経験を活かして、多くの学校を回って科学の楽しさを指導している団体です。低学年（1～3年生）は、「香りの粒を作ろう」というテーマで実験をしました。吸水性樹脂が浸透圧を利用して水を吸う仕組みを、様々な実験を通して学びました。最後に、吸水性樹脂に色と香りをつけて「香りの粒」（芳香剤）を作り、おみやげとして持ち帰りました。

高学年（4～6年生）は、「電池を作ろう」に挑戦しました。食塩水と活性炭、アルミカップ等を使って電池を作り、電圧を測定したりプロペラを回したりしました。ボルタが200年前に発明した電池の仕組みを、身近な材料で再現する実験内容でした。科学の不思議さと面白さを体験することができたひと時となりました。



<9月の行事予定>

9月の安全指導内容「けがをしないように運動しよう」

日	曜	相	行 事
1	木		始業式 給食始 委員会活動
2	金		読 安全指導
3	土		
4	日		
5	月	◆	全 あいさつ運動①
6	火	◆ ◇	読 あいさつ運動② 豊溪中学校来校日 1・2年身体測定3年こころのふれあい相談員面接
7	水		学 あいさつ運動③ 3・4年身体測定
8	木		音 5・6年身体測定
9	金		読 3年歯磨き指導
10	土		読 学校公開
11	日		
12	月	◆	全 ※給食費教材費引き落とし
13	火	◆ ◇	読 3年こころのふれあい相談員面接
14	水		学 クラブ活動
15	木		児
16	金		図 避難訓練
17	土		
18	日		
19	月		敬老の日
20	火	◆ ◇	読 (開校記念日) 3年こころのふれあい相談員面接
21	水		学 クラブ活動 科学クラブ出前実験教室
22	木		音
23	金		秋分の日
24	土		
25	日		
26	月	◆	全
27	火	◆ ◇	読 3年こころのふれあい相談員面接
28	水		特別時程4時間授業 2年校内研究授業(5校時)
29	木		体 全学年秋の歯科検診
30	金		読

夏休み作品展展示会期間

9月から月一回、金曜日の8:20~8:40までの間に本校保護者の図書ボランティアによる読み聞かせを行います。図書ボランティアに興味のある方は、学校までご連絡ください。

スクールカウンセラーの紹介

9月6日(火)から産休代替の赤尾杉 洋(あかおすぎ ひろし)さんが勤務します。基本的には火曜日が勤務日です。

全 全校朝会 音 音楽朝会 児 児童集会 体 体育朝会 学 朝学習 読 朝読書
図 読み聞かせ

◆心のふれあい相談員(秋葉) ◇: スクールカウンセラー(赤尾杉)
*行事予定は変更になる場合があります。学年だより等でご確認ください。

体育発表会

10月22日(土)に、体育発表会を行います。子ども達が、短距離走と表現を保護者の皆様の前で披露する場です。今年度も感染症対策により、鑑賞はお子様が在籍する学年のみの交代制とさせていただきます。9月末頃、詳細を別紙にてお知らせいたします。また、20日(木)には児童鑑賞日を設けています。子ども達同士で練習の成果を見合い、次年度の目標にしてほしいです。

学校公開

《日時》 9月10日(土) 1~3校時
通常の3時間授業とします。一家庭一名でのA・B・Cグループによる分散開催とします。避難訓練は別日に行い、引き取り訓練は実施しません。詳細は、後日配布する学校公開のお知らせをご確認ください。

夏休みの作品展

《日時》 9月12日(月)~16日(金)
15:30~16:30
教室や廊下に展示した作品を公開します。家庭の参観人数は制限しません。ぜひ、それぞれの学年の自由研究の成果をご覧ください。

サクラ草の栽培について

今年も、全校でサクラ草栽培に取り組みます。高学年は9月下旬から、中・低学年は10月に植え替え作業をする予定です。

1~3年生は、青いプラ鉢(1年時にアサガオを育てた鉢)を使います。4年生以上は、昨年度購入した白いプラ鉢(6号鉢)を使用します。

サクラ草は寒さに強く、12月から4月まで花を楽しむことができます。学校全体をたくさんの花で彩り、植物を大切に育てる気持ちを育んでいきます。

<9月の生活目標>

進んで仕事をしよう

旭町小学校には、当番・係活動、委員会、クラブ、たてわり班など様々な活動があり、子供たち一人一人に役割があります。進んで仕事を行うためには、やはり周囲からの励ましの言葉が大切と考えます。「ありがとう」「がんばったね」などの声かけがあると、子供たちは「やってよかった」「次もがんばろう」と達成感を得て、前向きな気持ちになります。

ご家庭でも、学校と同様な役割を果たす場面がありましたら、ぜひ温かい言葉をお子さんにかけていただきたいと思います。